

池中だより

- 【教育目標】
- すすんで学び実践する人
 - 感謝する心を持ち責任を果たす人
 - 心身ともに健康な人

10月号

平成25年10月2日

豊島区立池袋中学校

今は未来につながっている

校長 堀 利光

「秋来ぬと 目にはさやかに 見えねども 風の音にぞ おどろかれぬる」

これは古今集に載っている藤原敏行の歌です。秋が来たと目には、はっきりと見えるわけではない。だが、風の気配は、確実にいよいよ秋が来たのだと感じられる。びっくりしているわけではなく、心をときめかせているのです。春は派手にやって来るけれど、秋は静かに、しつとりと訪ねて来る。そんな雰囲気を感じられる今日この頃です。

また、秋という季節は様々な形容詞がつけられます。「勉強の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」「食欲の秋」…等。それだけ気候も良く何をしても良い時節ということなのでしょう。

明日から中間考査が始まります。毎日の授業で学習したことをどのくらい自分が理解し定着できたかを確認するのがテストの役目です。「テストがいやだなあ」と思って取り組むのと「自分がここはマスターできていた、逆にここは不十分でわかっていたな」ということを知ることができるチャンスだ」と思って取り組むのでは、やる気も結果もかなり違ってくるはずです。

さて、9月8日の早朝、アルゼンチンのブエノスアイレスで行われていたIOCの総会で2020年の夏期オリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定したというニュースが日本全国を駆け巡りました。このニュースを聞いてほとんどの人が7年後は自分はいくつになっていて、何をしているのだろうかと考えたに違いありません。

さらに、9月の下旬には、2027年に東京～名古屋間で開業予定のリニア中央新幹線について、JR東海が途中駅の詳細やルートの最終案を発表しました。途中駅に停車しない直通ならば、東京～名古屋間を約40分で結ぶリニア新幹線。このニュースから、14年後の自分を思い描いた人もいることでしょう。

まだまだ先のことだなんて思っていたらとんでもありません。現に小学校の6年間、中学校の3年間という時間はとうでしたか。あっという間だったのではないですか。

但し、7年後、14年後の自分は突然やってくるものではありません。一日一日の積み重ねがあって成り立つものです。将来を見据えて、今の自分を考えるという視点がとても大切になってきます。

こういう職業につきたいので、今からこの所に力を入れている。この夢を実現させるために、今はこんなことをやっている。当たり前のことですが、今は未来につながっているのです。今をおろそかにしていたら、自分の思うような7年後や14年後の姿は望めないかもしれません。

今月は衣替えです。身なりが変化するとともに、衣替えは「心がえ」と心得、気持ち新たに、年度の後半も今を大切に過ごしてください。

